

教 育 研 究 業 績 書

令和 4年 7月 26日

氏名 村尾 聡 印

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
学校教育に関する実務	国語科・文学教育、西郷文芸学、民間国語教育研究団体、教科横断的な学力、道徳教育	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
(1) 第33回文芸教育全国研究大会（東京大会） 1年生分科会 『きりかぶの赤ちゃん』の教材分析及び授業記録	平成10年8月	第33回文芸教育全国研究大会（東京大会）1年生分科会において、『きりかぶの赤ちゃん』（まど・みちお作、光村図書1年生）物語教材を分析・解釈し、どのように指導したのかを授業記録をもとに発表した（単発表）。 （資料） 『きりかぶの赤ちゃん』教材分析（A4版全30頁） 『きりかぶの赤ちゃん』授業記録（A4全版22頁）
(2) 第34回文芸教育全国研究大会（鹿児島大会） 2年生分科会 『スーホの白い馬』の教材分析及び授業記録	平成11年8月	第34回文芸教育全国研究大会（鹿児島大会）2年生分科会において、『スーホの白い馬』（大塚勇三作、光村図書2年生）物語教材を分析・解釈し、どのように指導したのかを授業記録をもとに発表した（単発表）。 （資料） 『スーホの白い馬』教材分析（A4版全35頁） 『スーホの白い馬』授業記録（A4版全34頁）
(3) 第37回文芸教育全国研究大会（山口大会） 4年生分科会 『体を守る仕組み』の教材分析及び授業記録	平成14年8月	第37回文芸教育全国研究大会（山口大会）説明文分科会において、『体を守る仕組み』（中村桂子著、光村図書4年生）説明文教材を分析・解釈し、どのように指導したのかを授業記録をもとに発表した（単発表）。 （資料） 『体を守る仕組み』教材分析（A4版全37頁） 『体を守る仕組み』授業記録（A4版全47頁）
(4) 第39回文芸教育全国研究大会（青森大会） 3年生分科会 『ちいちゃんのかげおくり』の教材分析及び授業記録	平成16年8月	第39回文芸教育全国研究大会（青森大会）3年生分科会において、『ちいちゃんのかげおくり』（あまんきみこ作、光村図書3年生）物語教材を分析・解釈し、どのように指導したのかを授業記録をもとに発表した（単発表）。 （資料） 『ちいちゃんのかげおくり』教材分析（A4版全31頁） 『ちいちゃんのかげおくり』授業記録（A4版全36頁）
(5) 第40回文芸教育全国研究大会（大阪大会） 5年生分科会 『わらぐつの中の神様』の教材分析及び授業記録	平成17年8月	第40回文芸教育全国研究大会（大阪大会）5年生分科会において、『わらぐつの中の神様』（杉みき子作、光村図書5年生）物語教材を分析・解釈し、どのように指導したのかを授業記録をもとに発表した（単発表）。 （資料） 『わらぐつの中の神様』教材分析（A4版全50頁） 『わらぐつの中の神様』授業記録（A4版全44頁）
(6) 第41回文芸教育全国研究大会（東京大会） 2年生分科会 『スーホの白い馬』の教材分析及び授業記録	平成18年8月	第41回文芸教育全国研究大会（東京大会）2年生分科会において、『スーホの白い馬』（大塚勇三作、光村図書2年生）物語教材を分析・解釈し、どのように指導したのかを授業記録をもとに発表した（単発表）。 （資料） 『スーホの白い馬』教材分析（A4版全35頁） 『スーホの白い馬』授業記録（A4版全34頁）

(7) 第42回文芸教育全国研究大会（熊本大会） 1年生分科会 『大きなかぶ』の教材分析及び授業記録	平成19年8月4日	第42回文芸教育全国研究大会（熊本大会）1年生分科会において、『大きなかぶ』（ロシア民話・西郷竹彦訳、光村図書1年生）民話教材を分析・解釈し、どのように指導したのかを授業記録をもとに発表した（単発表）。 （資料） 『大きなかぶ』教材分析（A4版全49頁） 『大きなかぶ』授業記録（A4版全43頁）
(8) 第45回文芸教育全国研究大会（広島大会） 説明文入門講座	平成22年8月8日	第45回文芸教育全国研究大会（広島大会）説明文入門講座において、『どうぶつの赤ちゃん』（増井光子著、光村図書1年生）『ビーバーの大工事』（中川志郎著、東京書籍2年生）説明文教材の指導の仕方を講義した（単発表）。 （資料） 『どうぶつの赤ちゃん』教材分析（A4版全34頁） 『ビーバーの大工事』教材分析（A4版全18頁）
(9) 第46回文芸教育全国研究大会（青森大会） 説明文入門講座	平成23年7月31日	第46回文芸教育全国研究大会（青森大会）説明文入門講座において、『どうぶつの赤ちゃん』（増井光子著、光村図書1年生）説明文教材の指導の仕方を講義した（単発表）。 （資料） 『どうぶつの赤ちゃん』教材分析（A4版全34頁）
(10) 第48回文芸教育全国研究大会 「ビデオによる公開授業」 『たべもの』教材分析及び授業記録	平成25年8月11日	第48回文芸教育全国研究大会「ビデオによる公開授業」において、詩教材『たべもの』（中江俊夫作）を教材分析し、授業記録（小学校2年生）及びビデオ映像をもとに発表した（単発表）。 （資料 A4版全13頁）
(11) 第49回文芸教育全国研究大会（熊本大会） 詩入門講座	平成26年8月9日	第49回文芸教育全国研究大会（熊本大会）詩入門講座において、『おうむ』（鶴見正夫）、『おちば』（三越左千夫）、『春の歌』（草野心平）、『はくさいぎしぎし』（武鹿悦子）の詩をテキストにして詩の授業方法を模擬授業で提案した。また『はくさいぎしぎし』、『村の人口』（原田直友）の詩の授業記録をもとに授業方法を講義した。 （入門講座A4版21頁、授業記録A4版35頁）
(12) 第50回文芸教育全国研究大会（広島大会） 詩入門講座	平成27年8月9日	第50回文芸教育全国研究大会（広島大会）詩入門講座において、『おうむ』（鶴見正夫）、『おちば』（三越左千夫）、『春の歌』（草野心平）、『よかったなあ』（まど・みちお）の詩をテキストにして詩の授業方法を模擬授業で提案した。また、『はくさいぎしぎし』、『うんどう会』（新井和）の授業記録をもとに授業方法について講義した。 （入門講座A4版24頁、授業記録A4版17頁）
(13) 第51回文芸教育全国研究大会（青森大会） 詩入門講座	平成28年7月31日	第51回文芸教育全国研究大会（青森大会）詩入門講座において、『おうむ』（鶴見正夫）、『いろうんなおとのあめ』（岸田衿子）、『雪』（三好達治）、『はくさいぎしぎし』（武鹿悦子）、『よかったなあ』（まど・みちお）の詩をテキストにして詩の授業方法を模擬授業で提案した。 （入門講座A4版39頁）
(14) 第53回文芸教育全国研究大会（横浜大会） 「ものの見方・考え方」入門講座	平成30年8月5日	第53回文芸教育全国研究大会（横浜大会）「ものの見方・考え方」入門講座において、詩、絵本、算数教科書教材、社会科教科書教材、絵本をテキストにして西郷文芸学における教育的認識論（ものの見方・考え方）について提案した。 （入門講座A4版50頁）

<p>(15)第54回文芸教育全国研究大会（鹿児島大会） 「ものの見方・考え方」入門講座</p>	<p>令和元年8月5日</p>	<p>第54回文芸教育全国研究大会（鹿児島大会）「ものの見方・考え方」入門講座において、詩、絵本、算数教科書教材、社会科教科書教材、絵本をテキストにして西郷文芸学における教育的認識論（ものの見方・考え方）について提案した。 （入門講座A4版62頁）</p>
<p>(16)第55回文芸教育全国研究大会（オンライン大会） 「ものの見方・考え方」入門講座</p>	<p>令和3年8月1日</p>	<p>第55回文芸教育全国研究大会（オンライン大会）「ものの見方・考え方」入門講座において、詩、絵本、算数教科書教材、社会科教科書教材、絵本をテキストにして西郷文芸学における教育的認識論（ものの見方・考え方）について提案した。 （入門講座A4版49頁）</p>
<p>(17)第56回文芸教育全国研究大会（オンライン大会） 「ものの見方・考え方」入門講座</p>	<p>令和3年7月31日（発表予定）</p>	<p>第56回文芸教育全国研究大会（オンライン大会）「ものの見方・考え方」入門講座において、詩、絵本、算数教科書教材、社会科教科書教材、絵本をテキストにして西郷文芸学における教育的認識論（ものの見方・考え方）について提案した。 （入門講座A4版49頁）</p>

<p>2 作成した教科書, 教材</p> <p>(1) 西郷竹彦監修、文芸教育研究協議会著『新国語教育事典』、明治図書</p> <p>(2) 西郷竹彦監修、文芸研編集『ものの見方・考え方を育てる小学校4学年・国語の授業』、新読書社</p> <p>(3) 西郷竹彦監修、文芸研編集『光村版・教科書指導ハンドブック 新版 小学校3学年・国語の授業』、新読書社</p> <p>(4) 村尾聡「文芸研の授業づくり『たしかさをふまえた、ゆたかで、ふかい読み』—『スイミー』(レオ・レオニ作、谷川俊太郎訳)—、『文芸教育 111号』、新読書社</p> <p>(5) 村尾聡「新教材『まいごのかぎ』をどう授業するか」『文芸教育』120号、新読書社</p> <p>(6) 村尾聡「《ものの見方・考え方》の関連・系統指導③わけ、順序」『文芸教育』122号、新読書社</p>	<p>平成17年9月</p> <p>平成23年4月</p> <p>平成27年5月</p> <p>平成29年5月</p> <p>令和 2年3月</p> <p>令和 2年12月</p>	<p>説明文の授業の理論と方法を「どうぶつの赤ちゃん」(増井光子、光村図書1年生)を例に具体的に解説した。 執筆箇所:167頁～172頁</p> <p>光村図書版国語教科書教材を文芸学の理論に基づいて分析・解釈し、小学校の国語科において具体的にどのように指導するのかを解説した。 (執筆箇所) 「春のうた」(草野心平) 38頁～44頁 「ぼくは川」(阪田寛夫) 89頁～90頁 「手と心で読む」(大島健甫) 90頁～93頁 「額に柿の木」(瀬川拓男) 154頁～157頁 「初雪のふる日」(安房直子) 157頁～161頁</p> <p>光村図書版国語教科書教材を文芸学の理論に基づいて分析・解釈し、小学校の国語科において具体的にどのように指導するのかを解説した。 (執筆箇所) 「もうすぐ雨に」(朽木祥) 76頁～79頁 「里山は未来の風景」(今森光彦) 80頁～83頁 「山のとっぺん」(岸田衿子) 86頁～87頁 「雪」(三好達治) 119頁～120頁 「ゆき」(草野心平) 121頁～122頁</p> <p>『スイミー』(レオ・レオニ作、谷川俊太郎訳)の教材分析・解釈を「アクティブ・ラーニング」の実践と比較しながら、解説した。(執筆箇所60頁～69頁)</p> <p>光村図書出版、小学校3年生、国語教科書掲載の新教材『まいごのかぎ』(斉藤倫作)を、西郷文芸学の理論と方法で教材分析し、どのように教材を解釈し、どのように授業化するかを、主な発問を提示しながら解説した。(執筆箇所48頁～57頁)</p> <p>西郷文芸学における「ものの見方・考え方」(関連・系統指導案)のうち、「わけ」と「順序」をとりあげ、詩「はきはき」(工藤直子)、説明文「どうぶつの赤ちゃん」(増井光子)、物語「おおきなかぶ」(西郷竹彦訳)などを使って解説した。(執筆箇所97頁～109頁)</p>
<p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p>		<p>特記事項なし</p>
<p>4 実務の経験を有する者についての特記事項</p> <p>(1) 第20回文芸教育研究集会(兵庫集会)詩入門講座</p> <p>(2) 第21回文芸教育研究集会(兵庫集会)「文芸学、ものの見方・考え方(教育的認識論)」入門講座</p> <p>(3) 第22回文芸教育研究集会(兵庫集会)「文芸学、ものの見方・考え方(教育的認識論)」入門講座</p>	<p>平成20年4月</p> <p>平成21年7月</p> <p>平成22年7月</p>	<p>第20回文芸教育研究集会(兵庫集会)詩入門講座において、低学年、中学年、高学年の詩教材の授業の方法を模擬授業方式で講義した(資料A4版12頁)。</p> <p>第21回文芸教育研究集会(兵庫集会)「文芸学、ものの見方・考え方(教育的認識論)」入門講座において、西郷文芸学及び教育的認識論を詩をテキストにして講義した。(資料A4版9頁)</p> <p>第22回文芸教育研究集会(兵庫集会)「文芸学、ものの見方・考え方(教育的認識論)」入門講座において、西郷文芸学及び教育的認識論を詩をテキストにして講義した(資料A4版9頁)。</p>

(4) 兵民教教育実践パワーアップ学習会 詩入門講座	平成22年4月	兵庫県民間教育団体連絡協議会教育実践パワーアップ学習会（2010年度）において、詩をテキストにして、低学年、中学年、高学年における詩の授業方法を講義した（資料A4版9頁）。
(5) 兵民教教育実践パワーアップ学習会 詩入門講座	平成23年4月	兵庫県民間教育団体連絡協議会教育実践パワーアップ学習会（2011年度）において、詩をテキストにして、低学年、中学年、高学年における詩の授業方法を講義した（資料A4版9頁）。
(6) 第23回文芸教育研究集会（兵庫集会）「文芸学、ものの見方・考え方（教育的認識論）」入門講座	平成23年7月	第23回文芸教育研究集会（兵庫集会）「文芸学、ものの見方・考え方（教育的認識論）」入門講座において、西郷文芸学及び教育的認識論を詩をテキストにして講義した（資料A4版9頁）。
(7) 兵民教教育実践パワーアップ学習会 詩入門講座	平成24年4月	兵庫県民間教育団体連絡協議会教育実践パワーアップ学習会（2012年度）において、詩をテキストにして、低学年、中学年、高学年における詩の授業方法を講義した（資料A4版9頁）。
(8) 第24回文芸教育研究集会（兵庫集会）入門講座『海の命』（立松和平）	平成24年7月	第24回文芸教育研究集会（兵庫集会）入門講座において、『海の命』（立松和平）の指導方法を模擬授業方式で講義した（資料A4版8頁）。
(9) 第51回兵庫県民間教育団体連絡協議会研究会入門講座『ごんぎつね』（新美南吉）	平成24年9月	第51回兵庫県民間教育団体連絡協議会研究会国語入門講座において、『ごんぎつね』（新美南吉）の指導方法を模擬授業方式で講義した（資料A4版12頁）。 兵庫県民間教育団体連絡協議会教育実践パワーアップ学習会（2013年度）において、詩をテキストにして、低学年、中学年、高学年における詩の授業方法を講義した（資料A4版9頁）。
(10) 兵民教教育実践パワーアップ学習会 詩入門講座	平成25年4月	兵庫県民間教育団体連絡協議会教育実践パワーアップ学習会（2013年度）において、詩をテキストにして、低学年、中学年、高学年における詩の授業方法を講義した（資料A4版9頁）。
(11) 第25回文芸教育研究集会（兵庫集会）詩入門講座	平成25年7月	第25回文芸教育研究集会（兵庫集会）詩入門講座において、低学年、中学年、高学年における詩の指導方法を模擬授業方式で講義した（資料A4版9頁）。
(12) 第52回兵庫県民間教育団体連絡協議会研究会入門講座『やまなし』（宮沢賢治）	平成25年8月	第52回兵庫県民間教育団体連絡協議会研究会国語入門講座において、『やまなし』（宮沢賢治）の指導方法を模擬授業方式で講義した（資料A4版12頁）。
(13) 第26回文芸教育教育研究集会（兵庫集会）小学校中学年入門講座『ちいちゃんのかげおくり』（あまんきみこ）『ごんぎつね』（新美南吉）	平成26年7月	第26回文芸教育教育研究集会（兵庫集会）小学校中学年入門講座において、『ちいちゃんのかげおくり』（あまんきみこ）『ごんぎつね』（新美南吉）の指導方法を模擬授業形式で講義した（資料『ちいちゃんのかげおくり』11頁、『ごんぎつね』12頁）。
(14) 第53回兵庫県民間教育団体連絡協議会研究会『やまなし』入門講座	平成26年8月	第53回兵庫県民間教育団体連絡協議会研究会国語入門講座において、『やまなし』（宮沢賢治）の指導方法を模擬授業方式で講義した（資料A4版12頁）。
(15) 兵民教教育実践パワーアップ学習会 詩入門講座	平成27年4月	兵庫県民間教育団体連絡協議会教育実践パワーアップ学習会（2015年度）において、詩をテキストにして、低学年、中学年、高学年における詩の授業方法を講義した（資料A4版9頁）。
(16) 第27回文芸教育教育研究集会（兵庫集会）小学校6学年入門講座『海の命』（立松和平）	平成27年7月	第27回文芸教育教育研究集会（兵庫集会）小学校6学年入門講座において、『海の命』（立松和平）の指導方法を講義した（資料A4版9頁）。

(17) 兵民教教育実践パワーアップ学習会 詩入門講座	平成28年4月	兵庫県民間教育団体連絡協議会教育実践パワーアップ学習会(2016年度)において、『おうむ』(鶴見正夫)、『いろんなおとのあめ』(岸田衿子)、『雪』(三好達治)、『春の歌』(草野心平)、『はくさいぎしぎし』(武鹿悦子)、『よかったなあ』(まど・みちお)等の詩をテキストにして、低学年、中学年、高学年における詩の授業方法を講義した(資料A4版9頁)。
(18) 第27回文芸教育教育研究集会(兵庫集会) 小学校6学年入門講座『海の命』(立松和平)	平成28年7月	第28回文芸教育教育研究集会(兵庫集会) 小学校5学年入門講座において、『わらぐつの中の神様』(杉みき子)の指導方法を講義した(資料A4版14頁)。
(19) 第29回文芸教育教育研究集会(但馬集会) 高学年学年分科会	平成28年8月	第29回文芸教育教育研究集会(但馬集会) 高学年分科会において、『わらぐつの中の神様』(杉みき子)、『海の命』(立松和平)の指導方法を講義した。 『わらぐつの中の神様』(資料A4版13頁) 『海の命』(資料A4版9頁)
(20) 第55回兵庫県民間教育団体連絡協議会研究集会 国語分科会	平成28年9月	第55回兵庫県民間教育団体連絡協議会研究集会国語分科会において、『だから わるい』(オセーエワ作、西郷竹彦訳)の指導方法を模擬授業方式で講義した。 (資料A4版6頁)
(21) 兵民教教育実践パワーアップ学習会 詩入門講座	平成29年4月	兵庫県民間教育団体連絡協議会教育実践パワーアップ学習会(2017年度)において、『おうむ』(鶴見正夫)、『たべもの』(中江俊夫)、『おちば』(三越左千夫)、『春の歌』(草野心平)、『はくさいぎしぎし』(武鹿悦子)、『よかったなあ』(まど・みちお)等の詩をテキストにして、低学年、中学年、高学年における詩の授業方法を講義した(資料A4版11頁)。
(22) 兵民教教育実践パワーアップ学習会 詩入門講座	平成30年4月	兵庫県民間教育団体連絡協議会教育実践パワーアップ学習会(2018年度)において、『おうむ』(鶴見正夫)、『たべもの』(中江俊夫)、『おちば』(三越左千夫)、『春の歌』(草野心平)、『はくさいぎしぎし』(武鹿悦子)、『よかったなあ』(まど・みちお)等の詩をテキストにして、低学年、中学年、高学年における詩の授業方法を講義した(資料A4版11頁)。
(23) 第30回文芸教育教育研究集会(兵庫集会) 小学校1学年入門講座『どうぶつの赤ちゃん』(説明文)	平成30年7月	第30回文芸教育教育研究集会(兵庫集会) 小学校1学年入門講座において、『どうぶつの赤ちゃん』(増井光子)の指導方法を講義した(資料A4版31頁)。
(24) 第31回文芸教育教育研究集会(兵庫集会) 記念講演『ものの見方・考え方とは何か』	令和元年7月	第31回文芸教育研究集会(兵庫集会) 記念講演において、「ものの見方・考え方とは何か」という演題で、詩、絵本、算数教科書教材、社会科教科書教材、絵本をテキストにして西郷文芸学における教育的認識論(ものの見方・考え方)について講演した。 (入門講座A4版50頁)
(25) 第58回兵庫県民間教育団体連絡協議会研究集会 道徳分科会	令和元年8月	第55回兵庫県民間教育団体連絡協議会研究集会道徳分科会において、『だから わるい』(オセーエワ作、西郷竹彦訳)、『はくさいぎしぎし』(武鹿悦子)等の寓話、詩を使って道徳科の指導方法と評価について講義した。 (資料A4版6頁)

5 その他		
(1) 「人間観・世界観を深めるための意味を問う」 (座談会)	平成19年3月	「人間観・世界観を深めるための意味を問う」というテーマで座談会をした。発言者。(西郷竹彦責任編集、文芸教育研究協議会『文芸教育』84号、新読書社、2007年、39頁～63頁)
(2) 「いじめ問題を問う」 (座談会)	平成19年8月	「いじめ問題を問う」というテーマで座談会をした。発言者。(西郷竹彦責任編集、文芸教育研究協議会『文芸教育』85号、新読書社、2007年、16頁～35頁)
(3) 第42回文芸教育全国研究大会 (熊本大会) 詩 (『よかったなあ』まど・みちお) の授業シンポジウム発言者	平成19年8月	第42回文芸教育全国研究大会 (熊本大会) において、『よかったなあ』 (まど・みちお) の詩の授業 (小学校6年生) をめぐってシンポジウムを行った。
(4) 第44回文芸教育全国研究大会 (鹿児島大会) 詩 (『あめ』山田今次) の授業シンポジウム、発言者	平成21年8月	第44回文芸教育全国研究大会 (鹿児島大会) において、『あめ』 (山田今次) の詩の授業 (小学校6年生) をめぐってシンポジウムを行った。
(5) 「二相ゆらぎ文芸的・教育的意義」 (座談会)	平成22年11月	「二相ゆらぎ文芸的・教育的意義」というテーマで座談会をした。発言者。(西郷竹彦責任編集、文芸教育研究協議会『文芸教育』89号、新読書社、2010年、24頁～45頁)
(6) 「説明文指導の原理と方法、低学年」 (座談会)	平成23年4月	「説明文指導の原理と方法 (低学年)」というテーマで座談会をした。司会者。(西郷竹彦責任編集、文芸教育研究協議会『文芸教育94号』新読書社、2011年、51頁～70頁)
(7) 第46回文芸教育全国研究大会 (青森大会) 詩 (『から』宮入黎子) の授業シンポジウム、司会者	平成23年8月	第46回文芸教育全国研究大会 (青森大会) において、『から』 (宮入黎子) の詩の授業 (小学校6年生) をめぐってシンポジウムを行った。シンポジウムの司会をした。
(8) 第24回文芸教育研究集会 (兵庫集会) 『ひかりとやみ』 (工藤直子) の授業シンポジウム	平成24年7月	第24回文芸教育研究大会 (兵庫大会) において、『ひかりとやみ』 (工藤直子) の詩の授業 (小学校5年生) をめぐってシンポジウムを行った。シンポジウムの司会をした。
(9) 第49回文芸教育全国研究大会 (熊本大会) 詩の授業『コレガ人間ナノデス』 (原民喜) の公開授業シンポジウム、発言者	平成26年8月	第49回文芸教育全国研究大会 (熊本大会) において、詩の授業『コレガ人間ナノデス』 (原民喜) の詩の授業 (小学校6年生) をめぐってシンポジウムを行った。
(10) 「西郷文芸学50年と国語教育」 (座談会)	平成28年10月	「西郷文芸学50年と国語教育」というテーマで座談会をした。発言者。(西郷竹彦責任編集、文芸教育研究協議会『文芸教育』109号、新読書社、2016年、6頁～55頁)
(11) 村尾聡『文学教育論—西郷文芸学の教育学的考察—』引用	平成28年4月	「西郷文芸学50年と国語教育」 (シンポジウム) 『文芸教育108号』 (新読書社) において、綾目広治 (ノートルダム清心女子大学教授) が村尾聡『文学教育論—西郷文芸学の教育学的考察—』58頁を引用する。
職 務 上 の 実 績 に 関 する 事 項		
事項	年月日	概 要
1 資格, 免許	平成5年9月	小学校教諭一種免許状 (平五小一め第10014号) (京都府教育委員会)

	平成23年6月	中学校教諭専修免許状(社会)(平二三中専修第15号)
2 特許等		特記事項なし

3 実務の経験を有する者についての特記事項		
(1) 関西教育学会65回和歌山大会自由研究発表(単発表) 「文学教育における価値形成について—道德教育との比較—」	平成25年11月	学習指導要領道徳における「読み物資料」を使った教育方法と、西郷文芸学における理論と方法を比較・検討し、西郷文芸学における文学教育が子ども達の道徳的価値観形成に寄与する可能性のあることを発表した(関西教育学会65回和歌山大会、資料A4版全5頁)。
(2) 第127回全国大学国語教育学会(筑波大会)自由研究発表(単発表) 「文学教育における価値形成について—民間国語教育研究団体における教育方法の比較—」	平成26年11月	国語教育研究団体(児童言語研究会、教育科学研究会国語部会、文芸教育研究協議会)において、道徳的価値観の形成が文学教育の中でどのように為されているのかを比較し、文学教育における道徳的価値観形成の可能性について発表した。(資料A4版全10頁)
(3) 第128回全国大学国語教育学会(兵庫大会)自由研究発表(単発表) 「文学教育における教育方法の研究—文芸教育研究協議会、科学的「読み」の授業研究会の比較を通して—」	平成27年5月	文芸教育研究協議会と科学的「読み」の研究会の文学教育における教育方法を「文学教育観、理論、方法」という観点において比較・検討した。(第128回全国大学国語教育学会)。(資料A4版全12頁)
(4) 第129回全国大学国語教育学会(西東京大会)自由研究発表(単発表)「文学教育における教育方法の研究—文芸教育研究協議会、日本文学協会国語教育部会の比較を通して—」	平成27年10月	文芸教育研究協議会と日本文学協会国語教育部会における教育方法を「文学教育の目的、方法、理論」という観点において比較・検討した。(第129回全国大学国語教育学会)。(資料A4版全12頁)
(5) 第130回全国大学国語教育学会(新潟大会)自由研究発表(単発表) 「文学教育における教育方法の研究—文芸教育研究協会、TOSS(Teacher's Organization of Skill Sharring)の比較を通して—」	平成28年5月	文芸教育研究協議会、TOSS(Teacher's Organization of Skill Sharring)における教育方法を「文学教育における人間理解・価値形成」という観点において、また理論と方法について比較・検討した。(第130回全国大学国語教育学会)。(資料A4版全15頁)
(6) 第131回全国大学国語教育学会(西東京大会)自由研究発表(単発表)「民間国語教育研究団体における教育方法の研究—日本文学教育連盟—」	平成28年10月16日	文芸教育研究協議会と日本文学教育連盟における教育方法を「文学教育の目的、方法、理論」という観点において比較・検討した。(第131回全国大学国語教育学会)。(資料A4版全14頁)
(7) 第132回全国大学国語教育学会(岩手大会)自由研究発表(単発表) 「アクティブ・ラーニングと文芸研方式の授業」	平成29年5月27日	次期学習指導要領が目指すところの「資質・能力」および「アクティブ・ラーニング」の学力観・教育方法を明らかにし、文芸教育研究協議会における「教育的認識論(ものの見方・考え方)」を生かした授業とを関連づけ、これからの国語教育について方向性を示した。(A4版12頁)
(8) 第53回日本教育方法学会(千葉大会)自由研究発表(単発表)「教科横断的・汎用的な学力形成に関する考察—文芸教育研究協議会『認識方法』、新潟大学教育学部附属新潟小学校『考え方のすべ』の実践を通して—」	平成29年10月7日	文芸教育研究協議会「認識の方法(ものの見方・考え方)」と新潟大学教育学部附属新潟小学校「考え方のすべ」の研究・実践を通して、教科横断的・汎用的な学力形成の可能性を考察した。(A4版12頁)
(9) 第54回日本教育方法学会(和歌山大会)自由研究発表(単発表) 「教科横断的・汎用的な学力形成に関する考察—文芸研『認識方法』、関西大学初等部「思考スキル」の実践を通して—」	平成30年9月	文芸教育研究協議会「認識の方法(ものの見方・考え方)」と関西大学初等部「思考スキル」の研究・実践を通して、教科横断的・汎用的な学力形成の可能性を考察した。(A4版16頁)
(10) 第71回中国四国教育学会(松山大会)自由研究発表(単発表) 「西郷文芸学における視点論の変容に関する一考察」	令和元年11月	西郷文芸学の視点論が、1970年代には、「人称的視点論」(一人称視点、三人称視点)を採用していたが、2008年に発表された「西郷文芸学の新展開」では、自ら人称的視点論を捨て、新しい視点論を打ち立てた。その変化の理由を歴史的に明らかにした。(A4版9頁)

(11)第72回中国四国教育学会（オンライン大会）自由研究発表（単発表） 「西郷文芸学における「虚構としての文芸作品の自在に相変移する入子型重層構造」に関する一考察」	令和2年11月	西郷文芸学における「虚構としての文芸作品の自在に相変移する入子型重層構造」の特質をウエイン・C・ブース、シーモア・チャトマン、パトリック・オニールらの物語論との比較、西郷模式図に関する論評の検討によって、その特質を明らかにし、西郷模式図が文学教育にどのような影響をもたらしたのかを考察した。（A4版11頁）
(12)第73回中国四国教育学会（オンライン大会）自由研究発表（単発表） 「西郷文芸学における「ものの見方・考え方（関連・系統指導演）」に関する一考察」	令和3年11月	西郷文芸学における各論と「ものの見方・考え方」（関連・系統指導演）との関係を「比較」と「構造論（筋論）」、「順序」と「虚構論」の観点から考察した（A4版12頁）
4 その他		
(1)兵庫県加東市立鴨川小学校 夏季校内研修講師	平成18年8月	兵庫県加東市立鴨川小学校夏季校内研修において、『はきはき』（工藤直子）、『ゆきのなかのこいぬ』（鈴木敏史）、『おちば』（三越左千夫）、『おと』（工藤直子）、『はくさいぎしぎし』（武鹿悦子）等をテキストにして、詩の授業方法を講義する。（資料 A4版31頁）
(2)兵庫県養父市立宿南小学校 夏季校内研修講師	平成20年8月	兵庫県養父市立宿南小学校夏季校内研修において、教育的認識論（関連・系統指導演）・「ものの見方・考え方」（低学年、中学年、高学年）を詩、絵本、物語、作文をテキストに講義する。（資料A版30頁）教育的認識論（関連・系統指導演）・「ものの見方・考え方」（低学年、中学年、高学年）を詩、絵本、物語、作文をテキストに講義する。（資料A版30頁）
(3)兵庫県豊岡市香美町立射添小学校 夏季校内研修講師	平成24年8月	兵庫県豊岡市香美町立射添小学校夏季校内研修において、教育的認識論（関連・系統指導演）・「ものの見方・考え方」（低学年、中学年、高学年）を詩、絵本、物語、作文をテキストに講義する。（資料A版30頁）
(4)兵庫県西脇市立西脇小学校 夏季校内研修講師	平成27年8月	兵庫県西脇市立西脇小学校夏季校内研修において、教育的認識論（関連・系統指導演）・「ものの見方・考え方」（低学年、中学年）を詩、絵本、物語、作文をテキストに講義する。（資料A版30頁）
(5)兵庫県西脇市立西脇小学校 夏季校内研修講師	平成28年8月	兵庫県西脇市立西脇小学校夏季校内研修において、教育的認識論（関連・系統指導演）・「ものの見方・考え方」（高学年）を詩、絵本、物語、作文をテキストに講義する。（資料A版35頁）
(6)兵庫県神戸市立多聞南小学校 夏季校内研修講師	平成29年7月	兵庫県神戸市立多聞南小学校夏季校内研修において、教育的認識論（関連・系統指導演）・「ものの見方・考え方」（低学年、中学年、高学年）を詩、絵本、物語、作文をテキストに講義する。（資料A4版29頁）
(7)兵庫県神戸市立多聞南小学校 夏季校内研修講師	平成30年7月	兵庫県神戸市立多聞南小学校夏季校内研修において、教育的認識論（関連・系統指導演）・「ものの見方・考え方」（低学年、中学年、高学年）を詩、絵本、物語、作文、社会科教科書等をテキストに講義する。（資料A4版50頁）
(8)兵庫県西脇市立楠丘小学校 夏季校内研修講師	令和元年8月	兵庫県西脇市立楠丘小学校夏季校内研修において、教育的認識論（関連・系統指導演）・「ものの見方・考え方」のうち、特に中学年の課題である「条件的・仮定的な考え方」を詩、絵本、物語、作文、社会科教科書等をテキストに講義する。（資料A4版52頁）

(9)大阪暁光高等学校 模擬授業講師	令和3年6月	大阪暁光高等学校、教育探求コース1年生を対象に「きょうね」（原田直友）、「から」（宮入黎子）、「たべもの」（中江俊夫）の詩をテキストにして模擬授業を行う。（資料A4版5枚）
(10)大阪暁光高等学校 模擬授業講師	令和3年7月	大阪暁光高等学校、教育探求コース2年生を対象に「きょうね」（原田直友）、「から」（宮入黎子）、「たべもの」（中江俊夫）の詩をテキストにして模擬授業を行う。（資料A4版5枚）

研 究 業 績 等 に 関 する 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1西郷竹彦監修、文芸教育研究協議会著『新国語教育事典』	共著	平成17年9月	明治図書	著者：村尾聡、足立悦男、加藤憲一、上西信夫、山中五郎 他47名 （執筆担当部分：説明文指導の理論と方法を「どうぶつの赤ちゃん」（増井光子、光村図書1年生）を例に具体的に解説した。pp. 167-172）
2『文学における人間観・世界観—宮沢賢治「やまなし」をどう読むか—』	単著	平成23年4月	日本高校インステテュート	宮沢賢治『やまなし』を作者の「イメージの方向性」及び「全体的な文脈」によって解釈し、賢治の仏教的な人間観・世界観を明らかにした。 また、他の研究者による『やまなし』の解釈を比較・検討、評価した。（A5版全94頁）
3西郷竹彦監修、文芸研編集『ものの見方・考え方を育てる小学校4学年・国語の授業』	共著	平成23年4月	新読書社	光村図書版国語教科書教材を文芸学の理論に基づいて分析・解釈し、小学校の国語科において具体的にどのように指導するのかを解説した。 著者：村尾聡、西郷竹彦、前田康子、寺村記久子、足立あつ子、蔵垣内収子、高橋雅之、和田美保 （執筆担当部分：「春のうた」（草野心平）pp. 38-44 「ぼくは川」（阪田寛夫）pp. 89- 90 「手と心で読む」（大島健甫）pp. 90- 93, 「額に柿の木」（瀬川拓男）pp. 154-157, 「初雪のふる日」（安房直子）pp. 157-161）
4『文学教育論—西郷文芸学の教育的考察—』	単著	平成26年6月	ブイツーンソリューション	西郷文芸学における文学教育理論とその方法を、学習指導要領国語、学習指導要領道徳、また民間国語教育団体の日本文学協会、教育科学研究会国語部会、児童言語研究会の教育観、その理論と方法と比較し、西郷文芸学における文学教育の独自性である「人間観・世界観の教育」「美の教育」「教育的認識論」をさまざまな角度から比較・検討し、評価した。 （A5版全101頁）
5西郷竹彦監修、文芸研編集『光村版・教科書指導ハンドブック 新版 小学校3学年・国語の授業』	共著	平成27年5月	新読書社	光村図書版国語教科書教材を文芸学の理論に基づいて分析・解釈し、小学校の国語科において具体的にどのように指導するのかを解説した。 著者：村尾聡、吉村真知子、野澤有香、二村知幸、後藤美智子、野澤正美 （執筆担当部分：「もうすぐ雨に」（朽木祥）pp. 76-79, 「里山は未来の風景」（今森光彦）pp. 80-83, 「山のとっぺん」（岸田裕子）pp. 86-87, 「雪」（三好達治）pp. 119-120, 「ゆき」（草野心平）pp. 121-122）

6. 岡本正志編著『今こそ教育！地域と協働する教員養成』	共著	令和3年4月	ミネルヴァ書房	「国語科は何を教える教科なのか」というタイトルで、学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」を実現するためにはどのような指導が必要なのかを「ごんぎつね」（新美南吉）を教材にして具体的に論述した。『小学校国語指導事例集』における「わたしの『ごんぎつね』を創作する」活動事例と、西郷文芸学の理論による『ごんぎつね』を教材にした人間認識を深める実践例とを比較し、あるべき国語教育について問題提起をした。（pp.153-162）
(学術論文)				
1「文学における人間観・世界観—宮沢賢治『やまなし』をどう読むか—」	単著	平成23年2月	龍谷大学大学院	宮沢賢治『やまなし』を文学理論、解釈学の理論をふまえ、作者の「イメージの方向性」及び「全体的な文脈」によって解釈し、賢治の仏教的な人間観・世界観を明らかにした。 また、これまでの『やまなし』の解釈（上笹一郎、花田俊典、須貝千里、西郷竹彦）を比較・検討、評価し、筆者独自の『やまなし』の分析・解釈を試みた。（全58頁）
2「西郷文芸学の教育学的考察」	単著	平成25年2月	龍谷大学大学院	西郷文芸学における文学教育理論とその方法を、学習指導要領国語、学習指導要領道徳における「読み物資料」を使った指導方法とを比較・検討し、その問題点を指摘した。また民間国語教育研究団体である日本文学協会国語教育部会、教育科学研究会国語部会、児童言語研究会の教育観、その理論と方法と比較し、その問題点を指摘した。さらに、西郷文芸学における文学教育の独自性である「人間観・世界観の教育」「美の教育」「教育的認識論」をさまざまな角度から批判・検討し、評価した。（A5版78頁）
3「西郷文芸学の教育学的考察」	単著	平成25年12月	龍谷大学大学院文学研究科紀要 第35集 pp.48-62	西郷文芸学の理論と方法を学習指導要領国語、学習指導要領道徳の学力観及び「読み物資料」を使った教育方法、また民間国語教育研究団体の理論と方法とを比較し、その教育的な評価を行った。
4「文学教育における価値形成について—道徳教育との比較—」	単著	平成26年8月	関西教育学会年報 通巻第38号 pp.206-210	学習指導要領道徳における「読み物資料」を使った教育方法と西郷文芸学による理論と方法を比較・検討し、西郷文芸学における文学教育が子ども達の道徳的価値観形成に寄与する可能性のあることを論証した。
5「文学教育における教育方法の研究—民間国語教育研究団体の比較を通して—」	単著	平成29年3月	『龍谷大学教育学会紀要』第16号、龍谷大学教育学会 pp.45-58	戦後、発足した国語教育研究団体である文芸教育研究協議会、教育科学研究会国語部会、児童言語研究会、科学的「読み」の授業研究会の文学教育における教育方法を比較・研究し、文学教育のあるべき方向性を示した。
6「教科横断的・汎用的な学力形成に関する考察—文芸教育研究協議会『認識方法』、新潟大学教育学部附属新潟小学校『考え方のすべ』の実践を通して」	単著	平成30年3月	『龍谷大学教育学会紀要』第17号、龍谷大学教育学会 pp.45-60	教科横断的・汎用的な学力形成をめざして、長年研究と実践を積み重ねてきた文芸教育研究協議会における「認識方法」と、新潟大学教育学部附属新潟小学校における「考え方のすべ」の実践を比較し、教科横断的・汎用的な学力形成の可能性について考察した。
7「文芸研の授業づくり『たしかさをふまえた、ゆたかで、ふかい読み』—『スイミー』（レオ・レオニ作、谷川俊太郎訳）—」	単著	平成29年5月	文芸教育研究協議会編『文芸教育』114号、新読書社、2018年 pp.60-69	『スイミー』（レオ・レオニ作、谷川俊太郎訳）の教材分析・解釈を「アクティブ・ラーニング」の実践と比較しながら、解説した。
8「文学教育における教育方法の研究、民間国語教育研究団体の比較を通して—児童言語研究会」	単著	平成30年4月	文芸教育研究協議会編『文芸教育』115号、新読書社、2018年 pp.88-102	「文学教育における教育方法の研究—民間国語教育研究団体の比較を通して」というテーマの連載。児童言語研究会の国語教育観、その理論と実践を考察した。

9「文学教育における教育方法の研究、民間国語教育研究団体の比較を通して—教育科学研究会国語部会」	単著	平成30年7月	文芸教育研究協議会編『文芸教育』116号、新読書社、2018年 pp.104-113	「文学教育における教育方法の研究—民間国語教育研究団体の比較を通してというテーマの連載、二回目。教育科学研究会国語部会の国語教育観、その理論と実践を考察した。
10「文学教育における教育方法の研究、民間国語教育研究団体の比較を通して—『読み』の授業研究会」	単著	平成30年11月	文芸教育研究協議会編『文芸教育』117号、新読書社、2019年 pp.104-113	「文学教育における教育方法の研究—民間国語教育研究団体の比較を通してというテーマの連載、三回目。『読み』の授業研究会の国語教育観、その理論と実践を考察した。
11「文学教育における教育方法の研究、民間国語教育研究団体の比較を通して—文芸教育研究協議会」	単著	令和元年8月	文芸教育研究協議会編『文芸教育』118号、新読書社、2019年 pp.92-101	「文学教育における教育方法の研究—民間国語教育研究団体の比較を通してというテーマの連載の最終回。文芸教育研究協議会の国語教育観、その理論と実践を考察した。
12「絵本における絵と文の関係—西郷文芸学『視点論』からの考察—」	単著	令和元年9月	『語文と教育』第33号、鳴門教育大学国語教育学会、pp.1-9	絵本における絵と文の関係を西郷文芸学における「視点論」の理論と方法によって分析、類型化し、絵と文の視点が一致する場合と一致しない場合を比較・検討し、幼児教育において望ましい絵本のありかたを考察した。
13「幼小連携からみた幼稚園領域と生活科・総合的学習の学び」	共著	令和2年2月	『大阪千代田短期大学紀要』第48号 pp.42-58(計17頁)	学習指導要領の改定に伴い、幼稚園領域から小学校教科学習との連携を見直した。コアカリキュラムとよび非認知的能力とに対応する内容について、「学びに向かう力」の観点から明確にしている。執筆を担当したpp.50-52では、新学習指導要領にもとづき、小学校国語と幼稚園領域「ことば」の接続性を、認識と資質・能力との関連性で分析した。 執筆担当部分、pp50-52、(計3頁) 共著者：奥田修一郎、村尾聡、岡本正志、松浦善満
14「西郷文芸学における視点論の変容に関する一考察」	単著	令和2年3月	中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第65巻、pp167-172	西郷文芸学における視点論の変化を年代ごと(1960年代～2010年代)に整理し、その変化の理由について考察した。
15「低学年で身につけさせたい見方・考え方—《わけ》と《順序》—」	単著	令和2年12月	文芸教育研究協議会編『文芸教育』122号、新読書社、2020年 pp.97-109	西郷文芸学における教育的認識論(ものの見方・考え方)のうち《わけ》《順序》というものの見方・考え方(認識方法)を取り上げ、「はきはき」(工藤直子)、「どうぶつのおちゃん」(増井光子)、「たんぼのちえ」(植村利夫)、「おおきななぶ」(ロシア民話、西郷竹彦訳)、「すがたをかえる大豆」(国分牧衛)等の教材を使って、どのように指導するかを解説した。
16「西郷文芸学における「虚構としての文芸作品の自在に相変移する入子型重層構造」に関する一考察」	単著	令和3年3月	中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第66巻、pp.357-362	西郷文芸学における「虚構としての文芸作品の自在に相変移する入子型重層構造」の特質をウエイン・C・ブース、シーモア・チャトマン、パトリック・オニールらの物語論との比較、西郷模式図に関する論評の検討によって、その特質を明らかにし、西郷模式図が文学教育にどのような影響をもたらしたのかを考察した。
17「西郷文芸学における「視点論」の変化に関する考察」	単著	令和3年3月	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科編『教育実践学論集』第22号、pp83-96	西郷視点論に関する記述を年代ごとに整理し、どこでどのように変化したのかを調査した。そして、視点論に関する概念用語の変化をたどることによって、なぜ視点論が変化したのかを考察した。また西郷視点論に関する先行研究を整理し、西郷視点論の変化との関連性を調べることで、さらに西郷視点論に影響を与えたと思われるナラトロジーの理論との比較等によって、なぜ西郷視点論が変化し、そして、その変化が文学教育に何をもたらしたのかを考察した。
18「西郷文芸学における「ものの見方・考え方」に関する一考察」	単著	令和4年3月	高野山大学教育学科紀要「綜芸」創刊号、pp.41-52	西郷文芸学における各論と「ものの見方・考え方」(関連・系統指導案)との関係を「比較」と「構造論(筋論)」、「順序」と「虚構論」の観点から考察した。

(その他)				特記事項なし
-------	--	--	--	--------